

一般質問

交通弱者対策の充実を



市政会

西澤 善二



市内を循環する ちょこっとバス

り合いバスや福祉バスを再編して運行をしています。

28年度にはワキンググループをつくり、需要動向に応じた利便性向上に向け検討を行っています。

なお、昨年のちょこっとタクシー利用者数は2万8730人で、この内、湖東地区での利用者は61人でした。

問 高齢化が進む中、交通弱者が増え、生活支援サービスの充実が求められるが、ちょこっとバス、タクシーの拡充が必要では。

答 現在は、合併前の乗

問 災害が予測される市内の危険箇所のパトロール実施状況と避難場所の周知は。

答 市内の急傾斜地は、県と合同でパトロールを実施し、氾濫が予想される河川は、梅雨入り前や台風の接近にあわせて、

危険箇所の点検を行って実態の把握に努めています。

避難場所は、防災マップやホームページに掲載するとともに、出前講座を実施して周知に努めています。

避難訓練は、市内で193件実施されており、危険箇所がある集落ではほぼ実施されています。

問 三方よしの定義には諸説があり、否定する見解もあると伺った。

答 三方よしの言葉については諸説さまざまですが、近江商人が到達した商業理念を端的に表現した造語であり、近江商人の精神を顕彰するもので、今後とも推進していきます。

子どもたちには資料集等を通じて、その精神を伝え、人づくりに役立っています。

健康診断は医療費削減につながる



市政会

岡崎 嘉一

問 年間30万人以上が、がんで死亡されており、男性は2人に1人、女性は3人に1人が発症すると言われている。

がんは加齢により発症するリスクが高まり、高齢化が進展する中で、がんによる死亡数は大きく増加することが予想される。

問 がんによる膨大な治療費を削減するため、検診受診率向上の取り組みは。

答 ①個別受診勧奨や再勧奨により、受診率が向上していますので、今後も取り組みを強化します。

また、健康推進員や保健師による未受診者への個別訪問による、顔の見えるきめ細やかな受診勧奨が、受診率向上に結びついていると考えています。

②県のがん対策推進計画において、市の責務は、がんの予防と受診率向上による早期発見の推進と なっていますので、今後も県と連携した取り組み

①がんによる膨大な治療費を削減するため、検診受診率向上の取り組みは。

②がん対策推進条例制定の考えは。

③東近江総合医療センターを、がん診療連携拠点病院にする考えは。



ラッピング電車健診をPR

を進めます。

③東近江総合医療センターでは、がん患者サロンの開設など、拠点病院の指定に向けた条件整備を着実に進められています。

しかし、国の指針による専任の医師の招聘がかなわず、現段階では指定申請を行うまでには至っていません。

問 マイナンバーカードの交付申請について、お年寄りや体の不自由な方々への申請支援策は。

答 代理人による申請も受け付けています。

なお、個人番号カードを受け取るには、本人が交付場所に来ていただくことが原則です。

やむを得ない場合に限り、代理の方に受け取っていただけるようにしています。

視覚障害者については、音声コードがついており、これを読み取ること個人番号がわかるようにしています。